

平成29年度 社会人基礎力育成グランプリ 関東地区予選大会 経営学部新田ゼミナール3年生チームが準優秀賞を受賞

文京学院大学経営学部 経営コミュニケーション学科・新田ゼミナールに所属する3年生チーム3名(佐久間百花、西村梓、渡辺美優)は、12月3日、「平成29年度 社会人基礎力育成グランプリ 関東地区予選大会(主催:社会人基礎力協議会/共催:経済産業省)」において準優秀賞を受賞いたしました。

「社会人基礎力育成グランプリ」の概要

「社会人基礎力育成グランプリ」は、大学生がゼミ・研究単位で、授業を通じてどれだけ社会人基礎力が伸びたかチームで発表し、その成長度を競う、年に1回開催される全国大会です。全国を6つのブロックに分けて予選が行われます。2007年度から始まったこの大会は、今年で11回目を迎えます。

ビジネスを巡る環境が大きく変化する中、企業等で働く人材には、基礎学力や専門知識に加え、新しい価値創出に向けた課題の発見、解決に向けた実行力、異分野と融合するチームワークなどの基礎的な能力が、より一層求められるようになっていきます。さらには、グローバル人材に求められる資質としても、「社会人基礎力」の重要性が認識されるようになってきました。



受賞の様子

準優秀賞「安全なエスカレーターに向けて新たなアプローチを」について

マーケティング戦略を専門とする本学経営学部経営コミュニケーション学科・新田ゼミナールでは「社会課題をマーケティングで解決する」ことを基本方針としています。

今回はエスカレーターの安全利用を啓発するため、「思わずつかまりたくなる」手すりデザインを考案。本チームメンバーの働きかけにより、10月12日から31日までJR目黒駅に直結する「アトレ目黒1」で学生デザインが採用されました。期間中には利用者アンケート調査を行い、また、手すりにつかまる人が増えたかななどの利用者の行動変化について観察し、有意な検証結果を得ることが出来たことを発表しました。一連の活動の中で本チームメンバーの「自ら考え行動できる力」「他者を巻き込む力」「チームとしての団結力や絆の高まり」は特筆すべきものがあり、今回の受賞につながる要因となりました。



採用されたデザイン

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。